

競 技 注 意 事 項

1. 2022年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。
2. 感染症対策に関して
 - (1) 他者との身体的距離が取れない場合や会話を行う場合には、マスクを着用すること。
また、マスクの着用の際には熱中症に十分注意すること。
 - (2) 手洗い・手指消毒の徹底。(各自、各チーム内でも準備すること)
 - (3) 集団での応援、声を出しての応援の禁止。(拍手での応援を)
 - (4) 体調チェック表の提出。(提出が無い場合は、出場できない)
 - (5) ライブ配信あり。(三重陸協 HP 確認)
 - (6) 一般観戦は、観覧席入口に掲示してある「QRコード」をスマートフォン等で読み込み、必要事項を入力し入場すること。「QRコード」に対応できない場合は、TICに手続きすること。
3. 招集について
 - (1) 招集時間

トラック競技	種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので 裏表紙の競技時間表を参照のこと。
フィールド競技	
 - (2) 招集所は第1ゲート(ゴール側ゲート)外側に設ける。
 - (3) 招集後は、各自で競技場所に移動すること。(選手誘導は、ありません)
 - (4) 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた者は出場を認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出る。
 - (5) 電子機器類の競技場への持込を禁止する(携帯電話、ミュージックプレーヤー等)。招集所で持ち物をチェックする。
 - (6) リレー種目は、オーダー用紙を各ラウンド招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。
棄権する場合は、その旨を口頭で招集所へ届け出ること。
(オーダー用紙・オーダー変更届け用紙はTICに設置してあります)
4. 競技について
 - (1) ビデオ監視システムを併用し判定を行なうことがある。
 - (2) スパイクのピンは、全天候性走路のためトラックは9mm、フィールドは12mm以下のものを使用すること。
 - (3) シューズ規定(厚底シューズ)は、日本陸連競技規定(TR5)を適用する。
・フィールド競技用シューズ規定(TR5.5)は、適用しない。(記録は公認記録として、認められる)
 - (4) 800m以上のトラック種目は、招集所において、腰ナンバーカード(白色)を受け取り右腰斜め後方に着用すること。(レース後に係員に返却のこと)
 - (5) 3000m・5000m・5000mWは、周回記録用腰Noカード(黄色・チップ付)を貸与するので、左腰に着用すること。競技終了後、係員へ返却すること。
 - (6) 5000m競歩・5000m(第3組)は、男女同時スタートとする。
※招集所において「レーンNoピブス」を受け取り胸部・背部へ着用すること。ゴール後返却すること。

- (7) 1500m 以上の長距離競技において、競技運営に支障をきたす場合は競技を中止させることがある。
- (8) 5000m 競走において、4000m までに周回遅れとなった場合は、競技を中止させる。
- (9) トラック競技とフィールド競技を兼ねる選手は、トラック競技を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
- (10) バーの上げ方、計測ラインについて。(天候等により変更あり)

<走高跳>

	(練習)			(開始)					
男子	1.75	1.85	2.00	1.80	1.85	1.90	1.95	2.00	2.03 (以後 3cm)
女子	1.40	1.50	1.60	1.45	1.50	1.55	1.60	1.63 (以後 3cm)	

<棒高跳>

	(練習)			(開始)			
男子	4.00	4.50	5.10	4.20	4.40	4.50	(以後 10cm)
女子	2.50	3.00	3.50	2.30	2.50	2.60	(以後 10cm)

<フィールド計測ライン> (天候により変更あり)

	男子	女子
走幅跳	6m70 5m50(少年 B)	5m10
三段跳	13m20	10m70
砲丸投	10m00 10m00(少年)	9m00
円盤投	35m00 25m00(少年)	25m00
ハンマー投	30m00 30m00(少年)	30m00
やり投	50m00	30m00

※上記以外は計測ラインを設けない。

- (11) 走幅跳・三段跳のピットは、メインスタンド側より Aピット、Bピットとする。
 - ・三段跳の踏み切り版は、男子 13m、女子 10m とする。
 - ・グラウンドのレベルの表記は、第 1 曲走路側を Aゾーン、第 2 曲走路側を Bゾーンとする。
- (12) 投てきの練習は、メイン競技場内のみとし、競技場周辺や補助競技場での練習は厳禁とする。
- (13) 雨天練習場については下記を守ること。

○人と人の間隔など、感染症対策を取り使用すること。

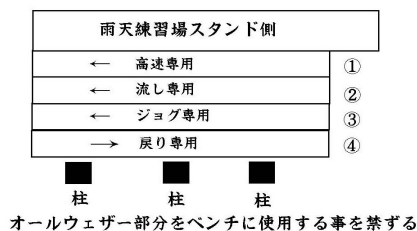
○スタンド側の 1 レーンは、高速専用とする。

○2 レーンは流し、3 レーンは Jog 専用とする。

○外側のレーンは戻り専用とする。

○オールウェザー部分上にチームのベンチを設置することを禁止する。

○多目的広場側アスファルト通路部分はベンチとして使用を認める。



(14) 競技場内へは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。

(15) 競技会での怪我は応急処置のみで、以後の責任はもたない。

5. 表彰について

○ 1位から8位の選手を表彰する。

※結果通告後、表彰控え室（正面ロービー）に集合すること。

※東海選手権出場希望者は本大会開催中にエントリーをすること。後日のエントリーは認めない。

6. 撮影について

○ビデオカメラ・デジタルカメラでの撮影は、禁止する。

○撮影禁止エリアを設定(表示)してあるので、順守すること。

7. その他

○メインスタンド（通路より上段）は、チームベンチとして使用することがあるので、ご承知ください。

○メインスタンド1階の入場はIDカード着用者のみとする。

○横断幕は芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。（最前列は禁止）

○競技場・スタンド席など使用施設は汚さないように気をつけ、ゴミは各チームで責任をもって持ち帰ること。

○更衣室は、TICで許可証を申請し、使用のこと。

○貴重品等、持ち物の保管は各自で責任を持つこと。

○ゴール後の動線について

・直線競技は第1ゲートよりメインスタンド外周通路を通り退場すること。

・その他のトラック競技は、ダッグアウト通路を使用せず、スタート位置に戻ることに。

○防水塗装保護のため、2階コンコースへベンチを設置する場合は粘着テープの使用は禁止する。

また、スタンド入口側（トイレ側）は非常用通路とするので、ベンチの設置は禁止する。

タープテント等の簡易テントの設置は、バックスタンドのみ可とする。

○補助競技場(第二競技場)内でのチームベンチの設置は禁止する。